

川地農水環運営委中の村支部との意見交換会 資料

中の村自治会

活動区分	中の村自治会の活動内容（太字は R6 年度開始）	連合自治会の主催行事	共催可能な多面的機能支払い制度
環境美化活動	駅周辺・桜土手の草刈り（年3回）	一斉清掃	景観形成活動、生活環境保全活動、農地周りの環境改善活動、農村環境保全活動
防災・防犯・交通安全活動	防災分科会 （「防災の手引き」作成、R7 年度末）	自主防災連合会、防災訓練	防災・減災力の強化
福祉活動	グランドゴルフ大会	敬老会、配食サービス、グランドゴルフ大会	医療・福祉との連携
子ども育成事業		声掛け運動、放課後学級	
イベント活動	イルミネーション設置（12～1月）、ポンボリ設置（3～4月）、 川地葉ボタン市参加	川地ふる里祭り	地域住民による直営施工
広報活動	中の村自治会通信（年6回）、ブログの運営	川地だより	
地域振興対策			

現在の問題	対応策	思い付きの活動例
<p>住民のおまかせ気質：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会活動、祭り、農地水活動などに対し ・分からんけー、任せるけー、頼むけー <p>結果、役員だけが最小限の活動（定型化→委縮）</p> <p>結果、中の村住民の意向がまとめられず共助が衰退し行政サービスも届かない。</p> <p>例：川地自治会館（小さい、浸水の恐れ）</p> <p>自治会役員が計画を把握せず住民に説明もせず、住民が声を出さなかった。そのため行政ベースで建設された。</p>	<p>とにかく現地を見る、当事者と話す</p> <p>とにかく住民が常会を超えて会って話す</p> <p>広報し、やっていることを見せる</p> <p>日当を払う</p> <p>役員（役に応じた義務）の自覚</p> <p>常連以外の新顔の登場を促す（60歳より若い）</p>	<p>廃屋・休耕田ツアー（日当付）</p> <p>イベントとセットにした集会（茶菓子付き）</p> <p>薬草や志和地ナス作り（法人と協力）</p> <p>ブログに多面や老人会ニュースで活発化</p> <p>カタクリ？</p> <p>PTAもどき、移住者や二拠点生活者、外国人？</p> <p>防災訓練</p> <p>重信琢雄翁頌徳碑の管理</p> <p>A コープ駐車場の環境整備（花壇ポット）</p> <p>桜土手への植栽（桜以外の樹種）</p> <p>交流拠点の整備</p>

合意したい事：中の村支部と中の村自治会（の役員）で話し合って、R7 年度活動計画をそれぞれ作る際（3月末まで）に共同活動を計画する。